

日本政策金融公庫の証券化支援業務（新規）

【平成20年度概算決定額（日本政策金融公庫出資金）：
468,000（0）千円】

対策のポイント

日本政策金融公庫が証券化支援業務を行うことで、民間金融機関へ農業融資のノウハウの移転を図るとともに、民間金融機関の農業融資の貸倒れリスクを軽減して、担い手農業者が必要とする運転資金の融資の円滑化を図り、担い手農業者の育成・確保を支援します。

（背景）

規模拡大等の経営改善に取り組む農業者等は、比較的大口の運転資金を機動的に必要なとしているが、運転資金の供給を担う民間金融機関（銀行・信金等）は農地を担保として評価しないことや、農業融資のノウハウが不足していることから、資金供給に消極的な状況にあります。このため、農業融資のノウハウの提供などを行い、民間金融機関の農業融資への参入の促進を図る必要があります。

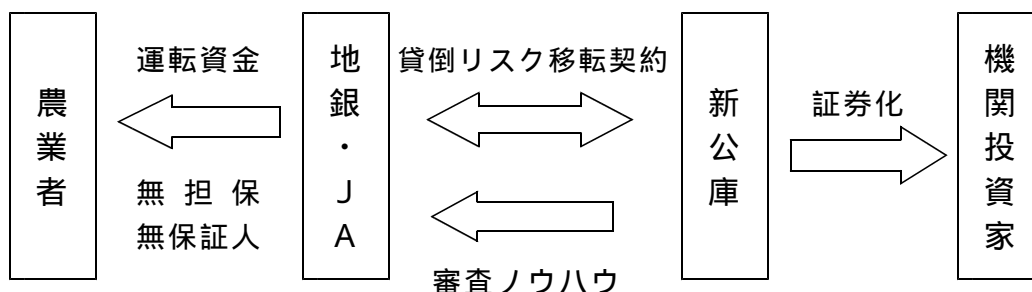
政策目標

農業者への経営支援の条件整備

< 内容 >

平成20年10月に設立される日本政策金融公庫は、民間金融機関（銀行・信金・農協等）が担い手農業者に対して融資する運転資金について、その貸付債権の貸倒リスクを引き受け、証券化することにより、民間金融機関の農業融資への参入を促進し、担い手農業者の育成・確保を支援します。

仕組み



[担当課：経営局金融調整課（03 - 3502 - 7248（直））]